



とどけ 夢 未来へ

- DREAMING -



あらい こなつ
新井 小夏さん

● 赤見中3年 ●

好きな英語を 生かして

私は英語が大好きです。修学旅行でも京都や奈良で出会った外国の方々と、たくさん会話できる機会があり、よい思い出になりました。

その時の「お礼のカード」は、英語で赤見中や佐野市のことを書きました。カードを渡すと、とても喜んでもらえてうれしかったです。コインを記念にもらうこともできました。

そんな経験から、将来は好きな英語を生かし、国と国とのよりよい交流に役立てるような職業に就きたいと思っています。夢の実現に向けて努力を続けていきたいです。

みんなの広場に 出してみませんか？

「キラリ★話題の人」「素敵な仲間たち」「めあと人生」（「素敵な仲間たち」「めあと人生」は隔月で掲載します）に登場していただける方を募集しています。自薦・他薦は問いません。詳しくは、政策調整課広報広聴係 ☎(20)3037 へお問い合わせください。

すてきな仲間たち



漢詩を楽しむ会

今は、静かな漢詩ブームの時代です。鑑賞や朗読に親しむだけではなく、やさしい漢詩作りに挑戦してみませんか。

人の脳細胞は、約10分の1しか利用されていないといわれています。人は、脳から老いるともいわれていますので、残りの細胞を活性化して長寿を保ちましょう。

この会は、自分たちの学習だけでなく、次の時代の人たちが、この分野で活躍できるための基礎づくりも、目的の一つにしています。

仲間づくりや生活の張り合い探しは無論のこと、人生を楽しむため、とにかく始めましょう。

（掲載した写真は、市生涯学習課の企画講座「漢詩を楽しむ会」を受講している時のものです）

私たちの活動に興味を持たれましたら、どなたでも入会できますので、皆様のご参加をお待ちしています。

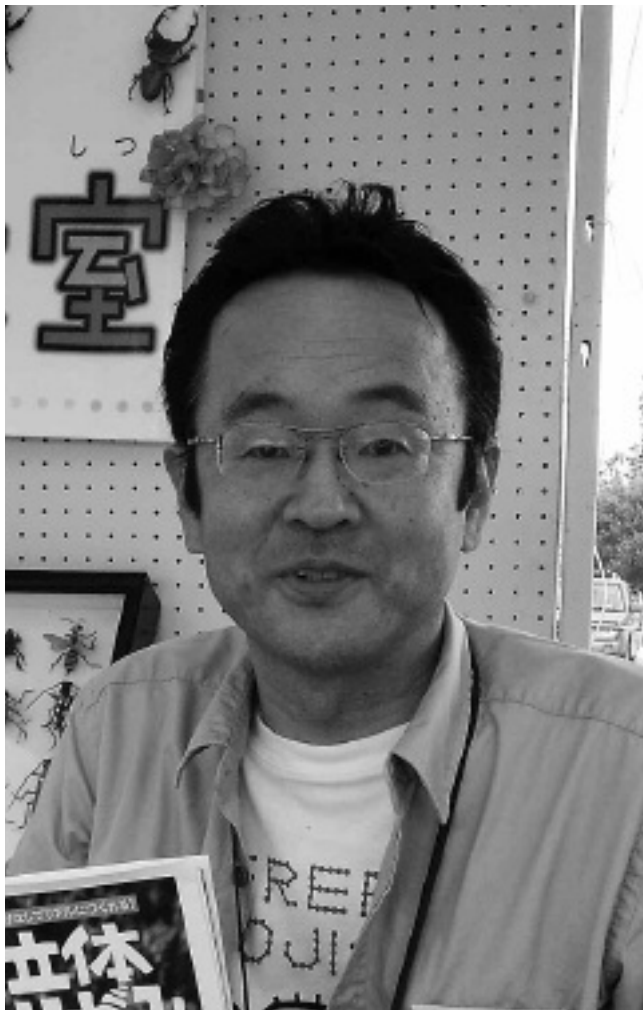
- 活動日 毎月第2火曜日
午後1時30分～3時30分
- 会場 犬伏地区公民館 第1会議室
- 連絡先 会長 高島 幸平 ☎(23)0211

キラリ★ 話題の「ひと」

きりおりがみ探検隊

さとう こういち
佐藤 孝一さん
(富士見町)

1956年生まれ。富士見町在住。サラリーマン歴30年を経て、現在は社会福祉法人とちのみ会・障害者相談支援センターに勤務。自ら名付けた「きりおりがみ」を通して、数々のボランティア活動を精力的に行っている。



大好きな虫たちをおりがみに

今にも動き出しそうなカブト虫、クワガタ、とんぼにカエル、ムカデや蟻など、細かな昆虫の足先を型紙にそってハサミを入れ、山折り谷折りを繰り返して立体的に作り出される「きりおりがみ」の作品は、本物と間違えてしまいそうなほどのリアルさ！

「毛並みのある動物以外は、形あるものほとんど作品にできますよ」と佐藤さん。きりおりがみで昆虫を作ろうとしたきっかけを聞いてみると、「俺たちの子どものころって、虫たちが遊び相手だったんですよ」という答えが返ってきました。自然に触れ合う機会の多かった佐藤さん、その大好きな昆虫たちを形に残したいという思いが、きりおりがみを生み出したようです。

「きりおりがみ」という名称も佐藤さんが名付けたもので、型紙から作り出します。20年前から始め、本格的な形になったのは、5年くらい前からといういます。

主な活動の場は、各地のイベントへの参加や、学校での子どもたちへの指導だそうで、その活動は、地域に密着したものから、市・県内を飛び出して県外にも及び、今年はずでに20回を超えているそう

です。

5月には、東京ビッグサイトのデザインフェスタに参加したり、山形・千葉・東京に住む、同じきりおりがみの仲間4人と「きりおりがみ探検隊」と称して、活動の幅を広げるために奮闘しています。

最近では、以前縁あって指導した広島県の板金屋さんから、ある作品展で銅板を使って作ったきりおりがみの作品が、大臣賞をとったと報告を受け、びっくりしたそうです。

最後に佐藤さんにこれからの目標を伺うと「今後の夢は6月に出版した『昆虫立体きりおりがみ』の英語版をアメリカに進出させてブームにしたい」と目を輝かし、楽しそうに話してくれました。

(市民記者 山崎 ちか子)



今にも動き出しそうなクワガタ虫